



tasar

Japan Tasar Assosication
<http://www.tasarjapan.org/>

94

Tasar News Letter
Vol.94
April 2013



全日本選手権（芦屋開催）にて

CONTENTS

Contents.....	1
振り返れば、そして未来へ.....	1
JTA2012 年度活動報告.....	2
理事会便り.....	3
Tasar Sailor of the Year	6
Mr.Frank Bethwaite と吉川さんを偲ぶ	7
2012 年度 レースレポート集.....	10
2012 年度 レース成績一覧.....	(巻末添付)

振り返れば、そして未来へ

会長 山本 晴之

私が本吉前会長から、2009 和歌山ワールドで会長を引き継いでから約 3 年が経ちました。

テザーのレース、イベントを「海は厳しく、フェアに。陸は楽しく！」として、より推進し、インターナショナルクラスセラーとしての質、理解を高めるために以下の事を目標として理事一体となって進めてきました。

- 一般会員と協会との情報差をなくす。
- RRS クラスルール等の理解を深める。その為に練習会、ルール講習会等を実施する。
- 各公式レースの公示、SI、に対するの厳密性、整合性等を吟味する。全日本の運営、レース内容に関してのグレードの維持、向上。
- 規約の改正
- 世界選手権への参加者を増やし、レースでも楽しみとしても世界を経験してもらう。
- 日本人初の世界選手権優勝チームを出す。

達成出来てない部分もありますが、理事、会員の皆様の御協力でそれぞれかなり目標に近くなってきたと思います。特に JTA 通信を創った事で、一般会員と協会との情報差はなくなってきたと思います。

その間、日本においては東日本大震災、放射能問題、不景気等により、社会人セラーの多いテザーはかなり打撃を受けたと思います。それでも理事のみんなが一丸となって歯を食いしばってがんばってくれた事に心から感謝致します。

今年度は秋田全日本、ゴージワールド出場、西日本選手権の初の和歌山開催等チャレンジがたくさんあります。またイギリスワールドで決まったカーボンマスト等導入でも新たな選択肢が出来、あらためて意見等も求められています。テザーが世界で、日本でより一層の発展をし、艇、レース、楽しみ方が他のクラスより魅力的になりますようみんなががんばっていききたいと思います。

最後に、先日ソニセーリングクラブの中村くんが言っていた言葉を拝借したのですが……

今年みんな テザーをもっと愛そう！

活動報告

協会公式イベント

2012 年度は、下記の公式イベントを実施しました。

JTA 公式レース

- ・ スプリングレガッタ（開催地：葉山 / 日程：2012 年 4 月 28,29 日 / 22 艇）
- ・ 西日本選手権（開催地：芦屋 / 日程：2012 年 7 月 8 日 / 17 艇）
- ・ ミッドサマーレガッタ（開催地：浜名湖 / 日程：2012 年 8 月 26 日 / 26 艇）
- ・ 全日本選手権（開催地：芦屋 / 日程：2012 年 9 月 14～16 日 / 27 艇）
- ・ オータムレガッタ（開催地：江ノ島 / 日程：2012 年 11 月 11 日 / 18 艇）
- ・ 和歌山ワールドメモリアルレガッタ（開催地：和歌山 / 日程：2012 年 11 月 24 日 / 9 艇）
- ・ ミッドウィンターレガッタ（開催地：稲毛 / 日程：2013 年 2 月 17 日 / 15 艇）

合同練習会

- ・ 第 1 回関西合同練習会（開催地：芦屋 / 日程：2012 年 4 月 15 日）
- ・ 第 1 回関東合同練習会（開催地：稲毛 / 日程：2012 年 5 月 26,27 日）
- ・ 第 2 回関西合同練習会（開催地：芦屋 / 日程：2012 年 5 月 20 日）
- ・ 第 3 回関西合同練習会（開催地：大阪北港 / 日程：2012 年 6 月 17 日）
- ・ 第 4 回関西合同練習会（開催地：芦屋 / 日程：2012 年 8 月）
- ・ 第 2 回関東合同練習会（開催地：江ノ島 / 日程：2012 年 11 月 10 日）

その他

- ・ JSAF ルール講習会、JTA 新年会（開催地：東京・浜松町 / 日程：2013 年 1 月 9 日）

理事会一般活動

渉外(国内/国外)、広報活動(情報公開/普及)、イベント管理、クラスルール管理(計測)、会計管理、会員管理などを実施しました。

2013 年度会員への更新(再入会)のご案内

会計 井上 敦

3月31日にて2012年度の会員期間が終了致します。2013年度会員への更新(再入会)の手続きをお願い申し上げます。

会員ページ <http://www.tasarjapan.org/member/index.php> よりログインいただきますと、更新ボタンが表示されます。更新ボタンを押して、表示される会員情報をご確認いただき、送信ボタンを押してください。変更がある場合は、この画面上の項目をご修正下さい。

その後、指定の口座へ会費を振込みいただくことで、更新の手続きが完了いたします。(振込日が、会員期間の開始日となります)。

ご不明な点がございましたら、日本テザー協会 会計 (kaikei@tasarjapan.org) にお問い合わせください。

今後とも日本テザー協会を、よろしくお願い申し上げます。

理事紹介

2013 年度の理事メンバー

今年度は、イベント担当が任期途中ですが交代となりました。

会長：山本 晴之、副会長：田中 郁也、会計：井上 敦、広報：渡辺 克充、イベント担当：建内 満

国内事務局：小松 充（東日本担当）、渡辺 克充（西日本担当）、国際事務局：石川 洋二

江ノ島担当：村尾 隆、メジャー：軽部 竜也

交代理事（イベント担当）からの一言

前担当 久礼 嘉伸

2008年度に赤井さんより引き継ぎ、5年間イベント担当を務めさせて頂きました。右も左もわからないまま本吉さんを会長として理事会が発足し、2009年の和歌山ワールドの準備も手探りで開始され、本当に大変でしたが、その分達成感は格別でした。実は和歌山ワールドで最初に選手の前で挨拶したのは私で、これはひそかな自慢です(プラクティスのスキッパーズミーティングの時です)。その後も山本会長のもとで皆様に助けられながら、イベント担当を継続させて頂きました。

理事会に入って感じた事は、日本テザー協会が本当に会員の皆様のボランティア精神によって成り立っている事です。イベント担当と言っても一人でイベントが実施出来るわけでも無く、実質的には各フリーの皆

様がイベント実施を進んで請け負って頂いて初めて成り立っています。今後は一会員として協会に協力して行きたいと思います（まずは、2013年度スプリングレガッタの運営から）。理事会の皆様、理事会以外でもご協力頂けた皆様本当に感謝します。今後とも宜しくお願いします。

新担当 建内 満

こんにちは。葉山フリートの建内です。子供が生まれてから、海に行く機会もめっきり減ってしまい、ヨットから離れている時間が長くなっています。Familyで参加しやすい環境を作っていく事ができれば、ヨットから離れていたメンバーが戻ってくるのではないかと考えています。イベント担当として、良い循環を作れるように、頑張っていきたいと考えています。よろしくお祈りします。

理事からのメッセージ

国内事務局：小松 充

昨年は、日本テザー協会にとってはいろいろなことがあった年でした。今年も国内事務局をそのまま継続していますが、個人的にはとうとう本厄なので、ご迷惑かけない程度にしておきます。レースの方も、運営ではなく、選手として参加していき鯛と思いますので、どうかよろしくお祈り致します。

国際事務局担当：石川 洋二

ワールドの年、日本選手の活躍を支援するとともに、みなさまの国際的な活動のお役にたてればと思っていますのです、よろしくお祈りいたします。

メジャー：軽部 竜也

宮下さんからメジャーを引き継いで1年が経ちました。正直に言って自分になるとは想像もしていなかったため、問題点や課題の整理ができておらず、準備不足を感じる1年間でした。

今年は秋田で全日本が開催です。テザーの活動拠点が無いところでの開催になりますので、計測体制を決めることが目下の課題です。計測自体はやはり実施する方も受ける方も面倒が付きまとい

ますが、年に1回ぐらいは身体検査のつもりで自艇の状態を確認してもらいたいと思います。

装備についての新しい情報もなるべく提供していきたいと思いますが、英語が不得手なものでなかなか捗りません。協会メンバーの皆さんもぜひ海外のクラス協会のHPなどを覗いてみてください。新しい情報に限らず、疑問に思うことや議論すべき課題が見つけたらぜひご意見をお寄せください。

副会長：田中 郁也

私がテザーを始めたのは、葉山ワールドの翌年、1993年です。それから20年あまりが過ぎました。始めた頃は、稲毛フリートが発足した時期と重なり、毎週末土日に乗るのが当たり前という時期もありました。その後、仕事の都合や転勤などにより、セーリングに向かう気持ちの余裕をなくした時期や乗りたくても乗れない時期もありました。

先日、遅ればせながら初乗りをしましたが、結構くたびれて、全身運動としてのセーリングのすばらしさを感じました。特にクルーは怪我を克服しての復帰となり、ステップアップを目指して改めてスタートを切りたいと思っています。

テザーは人も船も寿命が長いのが特徴です。昔テザーをともに楽しんだ仲間の皆さん、もう一度テザーに戻ってきませんか？ 転勤、結婚、お子さんの誕生など長い人生、いろいろなイベン

トがあり、セーリングを続けるのは難しいことです。少し余裕ができたときに気軽に戻ってこられるクラス、あらゆる人たちにオープンでフレンドリーなクラスであり続けることを願っています。

ワールドに向けての準備状況

田中 郁也

秋田男鹿での全日本、日本のテザーにとってチャレンジですが、初夏の東北を思いっきり楽しみ、北限更新のイベントを成功させましょう。ゴージワールドまでタイトなスケジュールとなりますが、事前の準備と工夫、皆さんの協力により乗り切りたいと思います。

さて、ゴージワールドはすでに参加が確定した数チームのほか、鋭意調整中のチームも加えると2ケタの参加が期待できそうです。現在メーリングリストをつくり、具体的な算段などを話しています。段取りを詰めるためにも参加チームの見通しが必要で、ワールド参加をお考えの方はスプリングレガッタまでにお知らせいただくと助かります。

現在想定しているスケジュールは以下のとおりです。

7月上旬 コンテナ積み込み作業（場所、時期、コンテナ本数については参加表明チームの状況を踏まえて決定） 基本：秋田男鹿にて全日本終了後（7月7日及び8日）に作業。この対応が困難なチームには別プランを検討。

7月16日（火）：東京港通関許可期限

7月19日（金）：東京港発

7月30日（火）：ポートランド着荷揚げ

8月5日（月）：ポートランド通関許可

8月8日（木）まで：コンテナゴージ着

8月9日 現地での積み下ろし作業（大会期間中はコンテナを現地留置き）

8月17日及び18日午前10時までに完了を目標に作業

多くのワールドチームに秋田に出てもらいたいと思っていますが、仕事の都合などから秋田への参加もしくは艇搬入が難しいという場合には、全日本前の余裕をもった時期に別の場所で積み込みの機会をつくることになるでしょう。別コンテナとするか、同じコンテナを回送できるかは具体的な状況が見えてからになります。また、参加チーム数も重要な要素です。コンテナが1つか、これにもう一つ加わるのかによって、場所の選択肢や費用の比較条件も変わってきます。早めの参加表明を重ねてお願いします。

Mr. Frank Bethwaite と吉川さんを偲ぶ

テザーの生みの親である Frank Bethwaite 氏が、2012 年 5 月 12 日、91 歳でご他界されました。また、日本にテザーを導入し、テザークラスの普及・発展に多大なるご尽力をされた吉川圭二名誉会長が、2012 年 11 月 28 日逝去されました。

Mr. Frank Bethwaite と吉川さんを偲ぶ 山本 晴之

2012 年度、世界と日本のテザーにおいてとても大事な二人を失いました。5 月にテザー設計者のフランク・ベスウエイト氏、11 月に吉川名誉会長です。

私が初めてフランクに会ったのは 1988 年のイエブーンワールドでした。ご存知のように日本チームが初めて出場した世界選手権です。シドニー、ブリスベンで飛行機を乗り換え、確かローカル空港のロックハンプトンに、日本人チームを出迎えにフランク、ケンさん達数人がいました。その時はこんなデカイ奴らとレースをするのかと思い身震いしました。初めて握手したフランクの、大きなごつごつした岩のような、けれどとても暖かい手を今でも忘れられません。

それからワールドの度に話かけてもらったり、食事でも何度かご一緒させてもらったりしました。葉山ワールドの時にフランクの英語がニュージーランド訛りでぜんぜんわからないので、当時最新の電訳機をプレゼントしたのもなつかしい思い出です。



フランクとのお別れ会の様子

5 月にシドニー、ノースブリッジセーリングクラブでのお別れ会に日帰りでお出席しました。懐かしいセー

ラー達、ジュリアン、ネル夫人に会った時は寂しくて涙が出そうになりました。

吉川さんとは、思い出が余りに多すぎて語りきれません。吉川さん、本当にお世話になりました。また吉川さんの葬儀の際には各フリート、テザーフレンドからたくさん生花等を頂きました。清夫人にかわり厚く御礼申し上げます。

今頃二人は彼岸で、テザーやセーリング談義に花を咲かせているでしょう。JTA を代表致しまして、お二人のご冥福を心からお祈りいたします。

吉川さんを偲んで

金子 文雄

吉川さんとの出会いは今から 25 年ほど前のこと、バンクーバーワールドで新艇チャーターしたテザーを販売していることを舵誌で見つけ、電話をかけたのがきっかけでした。そのときは購入するには至りませんでした。翌年の夏、テザーに試乗させてほしいと吉川さんをお願いして渋谷駅で待ち合わせました。吉川さんはポロシャツと短パン姿で、駅前の手すりに腰をかけていました。笠島に向かう車の中でテザーについて延々と熱く語ってくれました。

吉川さんとテザーとの出会いからフランク・ベスウエイト氏との出会い、テザーの印象と性能、ワールド遠征、日本での活動状況まで、渋滞これ幸いと 2 時間ほど話が尽きませんでした。

笠島では渡辺さんがテザーを試乗艇として提供してくれました。黒のウエットスーツ姿に変身した吉川さんは、年齢を感じさせない身のこなしでクルーワークをしながら私に舵を持たせてくれました。

テザーの軽さやスピードに驚いた以上に、吉川さんの身軽な動きが印象に残りました。

90年に新艇を買ってルミと2人でテザーに乗り始めたのを、吉川さんはとても喜んでくれました。当時のニュースレターで、同じ頃テザーを始めた夫婦や親娘チームを紹介し、日本でもオーストラリアや欧米並みのテザーの楽しみ方ができるようになったと書いてくれました。

当時は吉川さんが独りでニュースレターを作り、会員に郵送していました。テザー協会が主催するレースも企画から運営まで周りの人たちとの協力体制を構築しながら定期的開催していました。海外との連絡も密に取り、オーストラリアや北米のニュースレターを翻訳してテザーのセーリングテクニックを紹介してくれていました。海外遠征も積極的で、日本にテザーが入って2年後にはテザーに乗り始めたばかりの日本人チームを引き連れてオーストラリアのイエプーン・ワールドに遠征しています。その2年後にはバンクーバーさらにアデレードと、テザーワールドの楽しさを積極的に伝えてくれました。そして92年には葉山でワールドを開催するまでこぎ着けたのです。日本にテザーが入ってわずか6年後のことです。葉山のデ・ラマンチャ・ヨットクラブの協力があって実現した日本ワールドですが、吉川さんの精力的な行動力と情熱には誰もが驚きました。使命感にも似た情熱と行動力はどこから来ているのか、テザーに惚れ込んだという次元を超えた何かがあったのでしょうか。

葉山ワールドの成功は吉川さんご本人にとっても非常に大きな満足につながったのではないかと思います。イギリス・ブリクサムワールドでは日本から初めてのコンテナ輸送を手がけていただき、リスクも背負ってもらいました。この時私が撮ったビデオに吉川さんが絶妙のナレーションを吹き込んで、思い出に残る貴重な財産となりました。

アメリカ・ゴージワールドではコンテナ輸送代を負担していただき、日本からの参加選手は過去最高の



93年、ブリクサムワールドにて（表彰式の前に）

13チームとなりました。後からうかがった話では、コンテナ代は吉川さんの奥様が出してくれたようです。絶大なご協力にあらためて感謝申し上げます。

テザーを始めた人たちは、テザーそのものの性能やスピードだけでなく、同じ楽しさを共有する人たちとのつながりやコミュニティーに居心地の良さを感じていたと思います。それは吉川さんがテザーと一緒に日本にもたらしたものです。ヨット先進国で生まれたセーリングの楽しみ方やライフスタイルそのものでもありました。海外のワールドに行くと、現地で同じような考えの人たちとの出会いは喜びであり、感動する理由もそこにあります。

アメリカ・ゴージワールドを最後に吉川さんは会長を小沢さんに委ね、テザー協会の活動を会員メンバーに託しました。日本のテザーセーラーが急速に増えはじめ、これから絶頂期を迎えようとする頃でした。吉川さんの後任は誰もできっこないと確信がありましたが、8人がかりで理事会組織を作り、吉川さんが一人でやってきたことを分担して何とか協会活動を続けることができました。小沢新会長のもとに山本副会長、レース企画と国内事務局を田中郁也さん、海外事務局を紀子さん、西日本事務局を安澤さん、メジャーが行谷さん、会計が大友さん、広報とニュースレターを金子が担当し、さまに総動員体制でした。毎月のように理事会を開き、深夜まで議論し、レースやイベントの企画を話し合いました。ニュースレターの原稿依頼や編集、印刷、発送、さらに会員とのコンタクトや問い合わせ対応まで、あらためて吉川さんの偉大さを噛みしめながらの新体制でした。協会活動は多岐にわたりましたが、その反面やり甲斐も感じられて、手作り感と達成感もありました。と同時に、吉川さんからやり甲斐を奪

ってしまったのではないかという後ろめたさもありました。吉川さんには名誉会長に就いてもらい、その後もずっと暖かく見守っていただきました。その2年後に行われた日本で2回目の浜名湖ワールドでは、テザーセーラー自らが大会を作り上げる喜びと大変さを実感させてもらいました。

吉川さんはケーキ作りという趣味もお持ちでした。これがまた材料や道具や作り方にこだわった絶品の味で、大会の度に手作りケーキを差し入れてくれました。吉川さんのご自宅は自らが設計し、地下室にある書斎と作業室は秘密基地か隠れ家のようなものでした。パソコンはパーツから組み立ててチューンアップし、フライトシミュレーターを駆使して世界の空を飛ぶのを楽しんでおられました。ワールドのあったオレゴン州ゴージ上空を飛行したり、レース海面のすぐ近くに小さい滑走路を見つけて着陸を試みたと言って、スクリーンショットをたくさん送ってくれました。オーストラリアのダーウィンワールドの前には、一足先に上空から現地の地形やレース海面を見てきましたよと電話をくれたりしました。仕事で訪れた世界各地をフライトシミュレーターで上空から再び訪問して、ああだったこうだったとおしゃべりするのを楽しんでおられました。カメラがデジタル一眼レフになってからも新機種が出る度に買っておられました。ウクレレもいくつかお持ちのようでした。テザーの前にはY-15も自作されたようです。

吉川さんとフランク・ベスウェイト氏の出会いは運命的なものささ感じます。年齢も同じくらいで戦争経験もあり、ベスウェイト氏は空軍、吉川さんは海軍だったと聞いています。ベスウェイト氏はかつて、模型飛行機の滞空時間で世界最長記録を達成しています。吉川さんはベスウェイト氏をプロフェッサーと呼び、ベスウェイト氏は吉川さんをオフィサーと呼んでお互い尊敬し合っていました。お二人のやり取りには心温まるものを感じます。手紙のやり取りや成田空港の税関での出会い、吉川さんのご自宅にホームステイした話、ワールドカウンスルでの緊迫したやり取りなども垣間見せていただきました。

吉川さんとベスウェイト氏は現役を退いてからも精力的で、ベスウェイト氏は晩年までテザーの改良に余念がなかったようです。一昨年、体調を崩したベスウェイト氏からパフォーマンスの大谷さんを通して連絡が入り、吉川さんは元気かと尋ねたそうです。吉川さんもちょうど体調を崩しておられたところで、奥様がベスウェイト氏にお礼のカードを贈られたと聞きました。その後1年ほどして、フランク・ベスウェイト氏が亡くなったという連絡が入りました。吉川さんの訃報が届いたのは、それからさほど日が経たない2012年11月28日のことでした。まるで申し合わせたかのように、テザー界の偉大な二人が揃ってこの世を去りました。



フランク・ベスウェイト氏の葬儀はテザーが誕生したシドニーのノースブリッジセーリングクラブで行われました。日本から山本会長が参列し吉川さんの奥様からのお悔やみの言葉が託されました。吉川さんの葬儀は杉並のご自宅近くの願泉寺で行われました。ベスウェイト氏の長男ジュリアン・ベスウェイト氏からのお花も届いていました。大勢のテザーセーラーが駆けつけ、吉川さんと最後のお別れをしてきました。祭壇の吉川さんのお写真が今にも語りかけるようで、25年前に初めて吉川さんと出会ったときのことを思い起こさせてくれました。

今頃、吉川さんはベスウェイト氏の夢見た空飛ぶテザーに2人で乗り込んで、天界からのフライトを楽しんでいるのかもしれない。(合掌)

吉川名誉会長の手記「日本テザー史」を、JTAのウェブサイトにてお読みいただくことができます。

<http://www.tasarjapan.org/histry/index.php>

スプリングレガッタ

テザーセーラーにとって、恒例となっている 4 月後半の葉山でのスプリングレガッタが、今年はゴールデンウィークの入り口、4 月 28 日、29 日に開催された。（レポート・写真／日本テザー協会）

朝の北風が残る中、第 1 レースがスタート。レースは昨年全日本チャンピオンの佐藤／村岸が圧巻のレース展開をみせた。一度先頭に立つと抜かれることなくトップフィニッシュ。2 位に宇佐美／小田倉、3 位に渡辺／中川が続いた。

第 2 レース、まだ残る北風の中スタート。1 上マークは前年覇者の山村／池田がトップで回航、ポジションを入れ替えながら大会に挑みこのレースは池田が舵を握る。

後ろから迫るのは、佐藤／村岸。ランニングではミートするまで、迫られるものの何とかマークでは前を維持し、上りのレグでは、ストラテジーよりもタクティクスを意識した抑えるコース取り。すると逆の海面を選んだ河合／白岩が伸び、上マークでは両艇の間に入りこむ。そのままサイドマークへ向かったところで、S 旗掲揚でフィニッシュとなった。

その後、長い風待ち。陸に戻ってパーティーの時間も気になる 15 時過ぎにようやく海風が入ってきた。すぐにスタートしたい運営陣の思惑とは異なり、上有利に設定されたスタートラインの影響もありゼネラルリコールを繰り返した。スタートラインを狭くし、ブラックフラッグを掲揚してようやくスタート。

1 上マークは左海面を選んだ艇が前を回航。その後は、右海面を選んだ有力選手達も加わり熾烈な上位争い。最終的には 1 位佐藤／村岸、2 位池田／秋吉、3 位山村／池田となり、初日のレースは終了となった。

2 日目の予報も微風。この日は同じ会場で OP のレースも開催され、朝から賑やか。OP 側は陸上で AP が掲揚され、陸上待機となるが、スロープが混雑してしまうことを避けるため、テザーは予定通り出艇し、海上で待機することになった。

結果この判断が功を奏し、予定された最大レースの 4 レース行う事ができた。この日は、最終順位が上位となる 4 艇中心のレース展開となった。第 4 レースは軽部夫妻がレースを引っ張るが、最終レグで山村／池田が追いつき、最終的にはハナ差でのフィニッシュ。当事者は順位がわからなかったが、山村／池田が 1 位、軽部夫妻が 2 位、佐藤／村岸が続いた。

第 5 レースは、この日好調の軽部夫妻がトップを守り 1 位。2 位に佐藤／村岸、3 位は山村／池田となった。第 6 レースは、植田・抜井がトップを伺ったが、最終的には佐藤／村岸が 1 位。最終レグには山村／池田にも抜かれ 3 位となった。

最終第 7 レース。1 位を取る事が優勝の絶対条件である山村／池田は下マークギリギリからのスタートを狙う。それを阻止しようとする佐藤／村岸艇に山本夫妻艇も絡みケースが起きてしまう。佐藤／村岸艇は、権利艇の山本夫妻艇の艇を避けさせ 2 回転、山村／池田はマークタッチにより 1 回転を行ってからレース参加となった。

その後は対照的な展開となり、粘り強く順位を上げていく佐藤／村岸艇に対し、山村／池田艇はなかなか順にを上げられず、トップまで順位を上げた佐藤／村岸が大会の優勝を決めた。準優勝には山村／池田、3 位は軽部夫妻となった。

佐藤／村岸は、全日本、ミッドウィンターに続き、3 大会連続の優勝となった。ワンランク上の走りを見せている彼らの連勝をストップするのはどの艇だろうか？ 挑戦者求む！



3大会連続の優勝を決めた佐藤（右）／村岸

(5/6 BULKHEAD magazine 掲載)

西日本選手権

多田／九富優勝！テザー級西日本選手権

7月8日、梅雨の合間のすっきりしない天候のもと、関西のメンバーを中心に、遠くは関東から2艇、九州から1艇の参加を加えた17チームのテザーセーラーが、兵庫県海洋体育館に集結し、第23回テザー級西日本選手権大会が開催されました。（文・写真／日本テザー協会）

恒例の前夜祭も盛り上がり過ぎた(?)様相で、いつも通りの和やかな雰囲気の中での選手権開催となりました。天候は雨こそ降らなかったものの、すっきりしない空模様。風も安定せず運営泣かせの1日となりました。

吹き出しは南西の軽風で、予定時刻より5分遅れでスタートです。安定しない風でブローと振れによりめまぐるしく変わる中、1上で抜け出してきたのは大阪北港の石川／泉。続いてチャーター艇で参加の田中夫妻、3番手に大阪北港の吉田／岸本、そして、地元芦屋の植田／抜井と続きました。

下マークまでに植田／抜井艇が3番手に浮上。2上の途中で左海面を選択した石川／泉をかわし、上マークは1位田中夫妻、2位植田／抜井の順で回航しました。追い上げてくる後続艇を振り切り、そのままフィニッシュすると思われましたが、フィニッシュライン直前で植田／抜井が田中夫妻を僅差でかわしてトップフィニッシュ。3位には徐々に追い上げてきた大阪北港の多田／九富が入りました。

その後さらに風は不安定になり、南西風と北風のブローが雲行きに合わせて交互に下りてくるような状況の中、風待ちが長く続きました。約2時間の風待ちの後、最終的には北風の中で第2レースがスタートしました。

風は強まったもののブローの強弱が激しいシフティーな海面の中、スタート直後から抜け出したのは多田／九富と石川／泉です。2艇が常に艇団を引っ張っていく形でレースは展開されました。時折下りてくる強いブローやシフティーな風に安定して走らせられない艇が多い中、最後までその2艇がトップを走り、最終的には1位石川／泉、2位多田／九富の順でフィニッシュし、大阪北港の2チームがワンツーフィニッシュを決めました。3位には田中夫妻が入りました。運営や選手達を悩ませる不安定な風でしたが、予定3レースに対して何とか2レースを消化することができ、レースを終えました。

優勝したのは2位と同得点ながら1レース3位、2レース2位と安定した成績を残した多田／九富でした。グランドマスタークラス優勝は同じく多田／九富、激戦区のマスタークラス優勝は田中夫妻でした。そして、スーパーグランドマスタークラスは3年ぶりにレースに参加した本吉選手が舵を取った本吉／安澤が優勝し会場を沸かせました。

この秋には、全日本選手権が9月14～16日の日程で同じ海面で開催されます。今回も新しいペアでの参加チームが多数あり、これからも新たな展開が期待できそうなテザークラスです。来る全日本選手権ではさらに多くのチームを迎え、熱いレースが展開されるものと期待します。



優勝の多田／九富。グランドマスタークラスでも優勝を飾りました

(6/12 BULKHEAD magazine 掲載)

第 23 回 西日本選手権を終えて

2653 多田 幸男

皆さんお疲れ様です。大会を準備・運営して頂いた関係者には厚く御礼申し上げます。お陰様で大変楽しいレースをさせて頂きました。大変ありがとうございました。「レポートを出せ」との事なので少し当日の行動を振り返ってみます。皆様の参考になれば幸いです。

今年は、クルーが変わりクルーウェイトが 30kg 増えました。そこで今大会のテーマは「ボートスピード」に置きました。今までは、クルーウェイト 100kg 弱で軽さでスピードと高さが出ていましたが、130kg でどこまでボートスピードが出せるのか？どこまで通用できるのか？が不安でした。幸いなことにクルーが超ベテランで、スキッパーはテルテールに、クルーは風に集中すると言う本来の役割分担に徹することが出来ました。又、情報のやり取りを頻繁にしてお互いの意思疎通を図ることが出来ました。ということで、現在の状況の中でのボートスピード・レグ全体の中でのボートスピード（ブローの中を走る）をある程度追求できたのではないかと思います。

具体的にレースを振り返ってみます。

第 1 レースの戦略は、右海面を使って走る、その為を上からスタートするでした。しかしながら、スタート直前には艇団が上に集まり、且つ、風が左にシフトした為、下スタートに切り替えました。フリーウォータが十分にあったためトップスピードでスタートが切れたと思います。その後、右海面を意識しながら、風の振れに合わせてタックを繰り返して行きました。結果的には、風の無い真ん中のコースを走りました。第 1 上を 7 位で回航した時は、トップ集団は 150m ほど離れていました。第 3 マークまでは順位に大きな変動はありません。第 3 マークを回航する時先行艇が上り気味にマーク回航したため、下突破を選択しました。その後、下斜め後方よりの寄せ波があり、波に乗せるとボートスピードが上がるので右海面を走りました。第 2 上は 5 位で 2 艇ほど抜いたこととなります。また、トップとの距離も近づきました。第 2 下でのマーク回航は、先行艇

の上側にポジションをとるように回航しましたが、先行艇のバックウィンドがきつく、即タックしました。その後、左沖海面に風があり、風も左に振れていました。その為左海面を使い、シフトに合わせてコースをひきました（クルーの指示で）。結果的には、3 位でしたが、1、2 位艇にも後 3・4 艇身ほど接近しました。問題点は多々ありますが、「微風の中でのボートスピード」という課題は何とかクリアできそうな感触をもてました。

第 2 レースは、スターボロングであるが右海面がやや有利、加えて大変シフティな風であると判断しました。スタートラインは上有利、そのため艇団は上に集中するだろうと判断し、戦略をたてました。スタートは、上の船団の下をキープし、フリーウォータを持ってスタートがきれました。スタート直後、風が下に振れますます有利となりました。後は、スターボロングを意識しながら、風の振れに合わせてタックをし、ブローの中を走る事を意識して走りました（クルーの指示）。ほぼ予想した通りの走りが出来たためか、第 1 上は 1 位で回航しました。しかし、その後の走りに問題があり、結果的に 2 位となりました。課題は二つです。その一つ目は、フリーでの走りです。ボートスピードを追求せず、直線的なプロパーコースを取ったことです（これは、軽量チームの時の走りが出たのではないかと思います）。もっとスピードを追求した走りをすべきだったと思います。二つ目は、クローズでフルハイクの状態にある時、ブローが入った時の対処の仕方です。一定のヒール角度を保つことに集中して（ヒール角度をセールとラダーで調整すること）ヒールする力をスピードに変える努力を怠ったことです。と言うよりもそのスキルをまだ身につけていないと言うことです。このスキルについては、前夜祭の場で友人よりアドバイスを受けていたのですが、一夜漬けでは出来ませんネ！

新チームで臨んだ結果、大きな結果と次の課題が見えました。全日本には、この二つの課題を克服して臨みたいと思います。私の座右の銘は「求めよさらば、与えられん」です。全日本で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

(2012 年 7 月 9 日記)

浜名湖テザーミッドサマー

8月26日、テザーミッドサマーレガッタが浜名湖ビーチスマリーナで開催されました。前日の土曜日から21チームが集まり、夜のバーベキューに始まり、地元ミュージシャンの生演奏、高倍率の天体望遠鏡、3カ所で見える打ち上げ花火など盛りだくさんのイベントで盛り上がりました。(文・写真/日本テザー協会)



1日集中型のサマーレガッタ。浜名湖の夏を満喫しました

レース当日、5艇が加わり合計26艇でレースが始まりました。10時ぐらいから6メートル前後の南風が吹き、出艇したテザーが思い思いに練習を開始、スタート予告信号を待ちました。そのなかで、1艇マストが倒れているテザーがあり、確認すると、優勝候補の佐藤/村岸のテザーで、1レース目はリタイアとなりました。残念。

第1レースはゼネリコのあとスタート。下有利のスタートラインで風下から出た艇が左海面を走り、1マークを好位置で回航と思われましたが、スターボードでレイラインに来た山村/吉田が前を切ります。そのまま山村/吉田がトップを譲らず1位フィニッシュ。2位石塚/白岩、3位亀山/井上。

第2レース、風下有利のスタートラインで佐藤/村岸が好スタート。その後、ポートタックに返し、左海面の中間を走ってトップ回航。続いて山村、蜂須賀、石川の各艇が追いますが、サイドマーク回航時には佐藤/村岸が2位を数10艇身離してダントツのトップとなりました。

第3レースは、下有利スタートからアップウインドで大接戦。地元・浜名湖のテザーがそろって回航します。このレースは、ロングコースで、途中

で順位が入れ替わり1位佐藤/村岸、2位山村/吉田、3位石塚/白岩、4位蜂須賀/佐合、5位本吉/安澤とフィニッシュしました。

総合優勝は、山村/吉田が獲得です。1日3レースのサマーレガッタでしたが、みなさん浜名湖を満喫できたと思います。天候と風そして素晴らしい運営スタッフに恵まれた楽しい大会になりました。

(8/31 BULKHEAD magazine 掲載)

全日本選手権

佐藤・村岸の連覇！西宮テザー全日本

9月15、16日、第27回テザー級全日本大会が兵庫県芦屋市の兵庫県立海洋体育館で開催されました。参加艇数は27艇と例年に比べ小規模でしたが、関東から九州までの強豪チームが揃い、灼熱の西宮沖で熱い戦いが繰り広げられました。(文・写真/日本テザー協会)

安定した風が吹くことで定評のある西宮海域ですが、台風16号が近づいていたために東風というイレギュラーな予報で初日はスタートしました。しかし予報に反して初日は比較的安定した南西の軽風が吹き、3レースを消化。1レース目は大阪北港の池田/秋吉、2レース目は稲毛の軽部/軽部、3レース目は長崎で単独練習中の田中/田中がトップを飾りました。

3レース終了時点では、田中/田中が暫定首位、2位に地元芦屋の植田/抜井、3位に軽部/軽部となり、また、3位と同点4位の池田/小林、3位と同点5位の下村/関口、それを1点差で追うディフェンディングチャンピオンの佐藤/村岸が6位という、まさに気の抜けない暫定結果で初日が終了しました。

2日目は東風が吹き上がる予報でしたが、風速が2~10メートル、そして30度以上も振幅のある風の中で残る3レースが行われました。初日の結果からは後を追う展開となっていた佐藤/村岸が第4、第5レースでトップ、前日首位の田中/田中が最終レースでトップ、と他艇を離し、また3位争いも熾烈さを極め、最終レースの最終レグのフィニッシュ直前まで、激しい戦いとなりました。

レガッタを通じてさまざまな風でレースが行われたため、得意、不得意を乗り越えて安定したチームが上位を占めた印象です。結果は佐藤／村岸が2連覇を果たし、同時にマスターズクラスも優勝。田中／田中は準優勝となり、3位には下村／関口がくい込みました。

総合8位の吉田／岸本は、グランドマスターズクラス（合計年齢100歳以上）で優勝、総合17位の本吉／安澤はスーパーグランドマスターズクラス（合計年齢120歳以上）で優勝と、幅広い年齢層の男女がコンペティターとなるテザーらしい大会が幕を閉じました。



二連覇を遂げた佐藤／村岸。
この勢いを止めるのはだれ？

来年の夏には、アメリカのオレゴン州コロンビアゴージで世界選手権大会が行われます。参加を予定しているチームはそれぞれの課題を見つけ、またワールドに向けたモチベーションが高まるレガッタになったと思われます。

本年度は11月のオータムレガッタ、年明け2月のミッドウィンターレガッタと、季節は寒くなってもまだまだ熱いテザーセーラーのレガッタは続きます。また、年間成績がポイント化され、高得点者が表彰される“TASAR SAILOR OF THE YEAR”の行方も楽しみになってきました。



選手全員集合

(9/19 BULKHEAD magazine 掲載)

オータムレガッタ

佐藤／村岸勝利、テザーオータムレガッタ

11月11日、江の島ヨットハーバーで「テザー級オータムレガッタ」が開催されました。前日の土曜日には合同練習会が開催され、乗員を乗せ換えながらの帆走練習と着艇後は合同ミーティングが実施され、各艇で帆走の技術を交換し合いました。（文・写真／日本テザー協会）

レース当日、稲毛から5艇、葉山4艇、江の島3艇、浜名湖2艇、芦屋2艇、大阪北港2艇の計18艇が参加。北風は冷たいですが選手たちの闘志はメラメラと燃えているようです。

1回のゼネリコの後、10時42分に第1レースがスタートしました。風速5メートル前後の順風ですが、陸風特有の激しい振れと強弱の変化に翻弄され、1上マークまでの間も順位はめまぐるしく変動していきます。

それでも1上をトップ回航したのは全日本覇者の佐藤／村岸艇でした。その後のレグも後続艇を寄せ付けず1位でフィニッシュ。2位に石川／泉艇、3位に渡辺／中川艇が続きます。

第2レースも佐藤／村岸艇が1上からフィニッシュまでトップを守ります。2位の山村／吉田艇、3位の石塚／白岩艇はフィニッシュの瞬間まで激しく争い、2位以下は混戦模様となりました。

第3レース、右海面に行った佐藤／村岸艇に対し左海面の艇団が大きくゲインします。1上を1位でまわった石川／泉艇が激しく追いつける佐藤／村岸艇をかわしてトップフィニッシュ。2位佐藤／村岸艇、3位石塚／白岩艇となり、これが佐藤／村岸艇の本大会唯一の失点となりました。

第4レースはアウター有利な状況で佐藤／村岸艇が下2番からスタート。もはや誰も追いつけません。1位佐藤／村岸艇、2位石塚／白岩艇、3位山村／吉田艇でフィニッシュ。圧倒的な差を見せ付けて佐藤／村岸艇が総合1位を獲得しました。総合2位は山村／吉田艇、総合3位は石塚／白岩艇でした。

むずかしい風でしたが素晴らしい運営スタッフに恵まれ、選手のみなさんもレースを満喫できたと思います。今後の注目は誰が佐藤／村岸組の連勝を止めるのか？ ますますヒートアップするテザーセーリングとなっています。



テザー界の王者、優勝の佐藤／村岸

(11/16 BULKHEAD magazine 掲載)

和歌山ワールドメモリアルレガッタ

渡辺・小澤優勝！和歌山ワールドメモリアル

11月24日、和歌山セーリングセンターにて「テザーワールドメモリアルレガッタ」が開催され、歴戦の強者が集い、熱い戦いが繰り広げられました。
(文・写真／日本テザー協会)



2009年和歌山世界選手権を記念して継続開催されているテザーワールドメモリアルレガッタ。写真は出場選手一同

第1レース。渡辺・小澤艇がスタート直後から飛び出し、強風下でも艇はフラットで安定し、素晴らしいスピードを維持し、そのままフィニッシュ。風の振れが大きく、2位以下は各マークごとに順位の変動がありましたが、2位山村・吉田艇、3位植田・抜井艇となりました。2レース目からは、若干長めのコース設定に変更され、やはり各艇を風の振れ・強

弱が襲います。フィニッシュでは快走した植田・抜井艇がトップ。2位は渡辺・小澤艇、3位関口・有木艇でした。

第3レースは、この日2度目のトップ渡辺・小澤艇です。スピードに加え、ベテラン小澤選手のコース取りもさえています。2位は石川・泉艇、3位山村・吉田艇と続きました。

みなトラブルもなく、予定以上に順調にレースが消化され過ぎたためでしょうか？ なんと、レース委員長より海上で『帆走指示書の変更。もう1本、レース追加』という、ありがたーい宣言いただき、選手達の顔には喜び！（ひきつり？）の表情が...

そのショートコースでおこなわれた最終レースは、全艇が少しでもいいスタートを狙おうとする気迫からか、ゼネラルリコールでスタートやり直し。再スタートは横一線でスタート。上マークまでの間は一進一退の攻防が続きます。さらには途中、風の強弱もいたずらし、ラルで止まる艇あり、ブローで快調に走る艇あり、最後まで気が抜けません。最終マークまでデッドヒートが続き...。結果トップフィニッシュは山村・吉田艇。2位に植田・抜井艇、3位関口・有木艇となり、熱い戦いも終止符が打たれました。

激戦の末、このレガッタの優勝を射止めたのは、4レース中2回のトップフィニッシュを飾り、テザーレガッタ初優勝となった芦屋フリートの渡辺・小澤組！ 苦節0年？、おめでとうございます！ 2位は稲毛フリートの山村・吉田組、3位は芦屋フリートの植田・抜井組がそれぞれ入賞しました。また年齢別では、グランドマスター（GM）クラス優勝は渡辺・小澤組、マスター（M）クラス優勝は植田・抜井組となりました。

今年最後の公式レースとなった本大会でしたが、来年の稲毛ミッドウィンターでの再会を誓い合って、大会は無事終了となりました。最後になりましたが、運営をしてくださいました和歌山県連のみなさま、ありがとうございました。またよろしく願いいたします。

(11/28 BULKHEAD magazine 掲載)

ミッドウィンターレガッタ

特製稲毛カレーとテザーミッドウィンター



テザークラス恒例の稲毛ミッドウィンターが開催されました

2月17日、稲毛ヨットハーバーでテザー級ミッドウィンターレガッタが開催されました。このところ冬将軍が居座る気候が続いていますが、この日も前日から残った10メートルオーバーの北風が朝から吹きつけ、選手たちを歓迎します。そんな中15艇のテザーセーラーが恒例のカレーに、ではなかったレースのために集結しました。(レポート・写真/日本テザー協会)

北風は出艇のころにはやや落ちますが、第1レースは8メートル程度の風のなかをスタート。スタートは混戦となりましたが、上位陣は出遅れても抜群のボートスピードで前に出てきます。江の島の佐藤/村岸がトップフィニッシュ、続く着順は稲毛の山村/吉田、下村/井上と地元勢が追撃します。

第2レースも同じようなコンディション。稲毛は海面があまり広くないためコースを岸寄りに設定せざるを得ず、北風の場合とはとても不規則なブローが入ります。ここでも佐藤/村岸は見事でした。

スタート後の不利な位置からでもピンチングモードでタックのルームをキープし、ブローを真っ先に拾いに行きます。ボートスピードがあるためこうなると他艇の追従を許しません。このレースをトップ、続く第3レースもトップフィニッシュし、テザー王者の貫録を見せつけます。

徐々に落ちる風の中、第4レースの最終レグはブローが残る微風の神経戦となりました。テザー

級は、帆走中のリグテンションとバングコントロールがクルーに委ねられていて、瞬間的な風の変化にセッティングを合わせるクルーの力量も試されます。

多くの艇が気まぐれな北風に翻弄される中、佐藤/村岸が安定したポジショニングで2位フィニッシュし、優勝を決めました。総合2位は健闘するも全レース王者の後塵を拝した稲毛の山村/吉田。総合3位は、熟練のレース運びを見せた芦屋の植田/抜井でした。

レース後、もはや本大会のメインイベントと誰もが疑わない特製稲毛カレーがふるまわれました。実はレース準備の90%はこのカレーに注がれます。冬のセーリングで冷え切った体が温まり、ハイクアウトで棒のようになった足が血気を取り戻します。

さて、今回も遠く芦屋や大阪北港から複数チームがカートップで参加してくれました。テザー級のよいところは、日本のどこでも気軽にレースにいけることです。そして艇体・マスト・セールのがワンデザインだからこそ生まれるシビアなセーリング技術のぶつかり合い、また軽量を活かした高速プレーニングは、他のダブルハンドクラスにはない魅力です。



優勝の佐藤/村岸。安定しています

そうはいつても470やスナイブに比べると見劣りするよなあ...と心の底で思っているそこのあなた！食わず嫌いはよくないですよ(カレーは美味しいですし)。テザーは皆さんの挑戦をお待ちしています。

(2/21 BULKHEAD magazine 掲載)

2012年度テーパー級スプリングレガッタ

2012年 4月 28日(土)～4月 29日(日)
 葉山港(神奈川県三浦郡葉山町堀内50)
 主催:日本テーパー協会

Rank	SailNo	BoatName	Skipper	Crew	Fleet Area	Class	Race #1			Race #2			Race #3			Race #4			Race #5			Race #6			Race #7			Race #8			Total Point
							Order	Comment	Point	Order	Comment	Point	Order	Comment	Point	Order	Comment	Point	Order	Comment	Point	Order	Comment	Point	Order	Comment	Point	Order	Comment	Point	
1	2862		佐藤 浩章	村岸 恭明	江ノ島	M	1		1	3		[3]	1		1	3		3	2		2	1		1	1		1				9
2	2736	都	山村 太郎	池田 陽平	稲毛		4		4	1		1	3		3	1		1	3		3	2		2	9		[9]			14	
3	2572		軽部 香	軽部 竜也	稲毛		5		[5]	5		5	4		4	2		2	1		1	4		4	3		3			19	
4	2705	Kaito	植田 泰平	抜井 康樹	芦屋	M	7		7	4		4	13		[13]	4		4	4		4	3		3	2		2			24	
5	2866	弦風	渡辺 克充	中川 佳代子	芦屋		3		3	6		6	9		9	11		[11]	8		8	5		5	6		6			37	
6	2730		宇佐美 重則	小田倉 里美	稲毛	GM	2		2	8		8	17		[17]	7		7	5		5	8		8	10		10			40	
7	2867	Suu	池田 俊則	秋吉 寿美子	大阪北港	GM	11		11	12		12	2		2	5		5	14		[14]	12		12	5		5			47	
8	2745	Destino	関口 真秀	加藤 洋	江ノ島				OCS [23]	7		7	11		11	8		8	10		10	10		10	7		7			53	
9	2396	dyc	山本 晴之	山本 玲子	葉山	M	8		8	10		10	12		12	OCS [23]		6		6	6		6	12		12				54	
10	2709	09 Magic	宮下 知之	米本 隆	葉山		9		9	9		9	10		10	6		6	15		15	7		7	16		[16]			56	
11	2707		河合 里香	白岩 道孝	浜名湖	M	14		14	2		2	6		6	15		15	20		[20]	16		16	8		8			61	
12	2671	Sakura	小林 昌弥	阪井 祐介	久礼 嘉伸	葉山		10		10	13		13	7		7	12		12	9		9	11		11	19		[19]		62	
13	2615	Tiki	田口 裕介	山下 朝子	葉山	M	15		15	14		14	5		5	16		16	11		11	15		15	18		[18]			76	
14	2749	EnoshimaWildBoar	野口 優	杉田 智宏	江ノ島	M	6		6	11		11	15		15	10		10	16		16	18		18	21		[21]			76	
15	2593		亀山 寛達	井上 敦	稲毛	M	17		17	15		15	16		16	OCS [23]		12		12	14		14	4		4				78	
16	2621	FattyCat	山下 栄輝	山下 晴輝	山下 陽子	葉山		12		12	16		16	21		[21]	13		13	13		13	21		21	15		15			90
17	2708		杉本 啓伍	高松 慎吾	葉山		19		19	19		19	8		8	9		9	17		17	19		19	20		[20]			91	
18	2712		下村 晃司	中西 昭人	稲毛	M			RAF [23]		RAF	23		RAF	23	18		18	7		7	9		9	14		14			94	
19	2748		石原 裕二	伊浪 雅人	葉山		16		16	21		[21]	19		19	19		19	19		19	13		13	11		11			97	
20	2715		小松 利英	野本 雅史	中村 賢一	葉山		18		18	18		18	20		[20]	14		14	18		18	17		17	17		17			102
21	2808	Martian Kitty	石川 洋二	登尾 早苗	葉山	M	20		20	20		20	14		14	17		17	22		[22]	20		20	13		13			104	
22	2720	風神	岡 誠	建内 満	永尾 岳志	葉山		13		13	17		17	18		18	20		20	21		21	22		[22]	22		22			111

第23回テザー級西日本大会

最終成績

種目別得点集計表

レース委員長

森藤孝志

プロテスト委員長

石崎五郎

実施日	平成24年7月8日
会場	兵庫県立海洋体育館
種目	テザー級

低得点方式

No.	セール番号	選手名/所属等	参加区分	第1レース			第2レース			最終成績	
				着順	順位	得点	着順	順位	得点	得点合計	総合順位
1	2653	多田幸男/九富潤一郎	大阪北港 GM	3	3	3	2	2	2	5	1
2	2669	田中郁也/田中紀子	稲毛M	2	2	2	3	3	3	5	2
3	2705	植田泰平/抜井康樹	芦屋 M	1	1	1	7	7	7	8	3
4	2719	石川光輝/泉 香月	大阪北港M	8	8	8	1	1	1	9	4
5	2712	下村晃司/関口真秀	芦屋	5	5	5	8	8	8	13	5
6	2861	吉田敬一/岸本辰也	大阪北港 GM	4	4	4	10	10	10	14	6
7	2738	三輪記裕/森藤孝志	大阪北港	11	11	11	4	4	4	15	7
8	2670	本吉讓治/安澤厚男	芦屋SGM	10	10	10	6	6	6	16	8
9	2867	池田俊則/秋吉寿美子	大阪北港 GM	7	7	7	11	11	11	18	9
10	2866	渡辺克充/中川佳代子	芦屋M	9	9	9	9	9	9	18	10
11	2208	南屋恵美子/長義晴	芦屋	15	15	15	5	5	5	20	11
12	2396	山本晴之/山本玲子	葉山M	6	6	6	OCS	OCS	18	24	12
13	2764	中西英貴/清水友紀	芦屋M	12	12	12	12	12	12	24	13
14	2655	岡本憲二/田中典和	和歌浦 GM	13	13	13	15	15	15	28	14
15	2534	蜂須賀弘美・上野美子	和歌浦 GM	14	14	14	14	14	14	28	15
16	2810	川瀬武晴/小林勇基	芦屋GM	16	16	16	13	13	13	29	16
17	2623	黒谷豊/西尾隆	芦屋M	17	17	17	OCS	OCS	18	35	17
スタート時刻				08日 11:05:00			08日 14:15:00				
先頭艇フィニッシュ時刻				08日 11:59:40			08日 14:49:35				
レース終了時刻				08日 12:15:37			08日 14:58:15				
コース				1-2-3-1-3			1-2-3-1-3				
天候				晴れ			晴れ				
風向				220°			10°				
風速				2.0m/s			4.0m/s				

2012 テーザーミッドサマーレガッタ 成績表

大会期間

2012年8月26日

開催場所

静岡県浜松市三ヶ日町 ビーチスマリーナ沖

大会参加艇数

26

成立レース

3

総合順位	名 前	sail no	クラス	クラブ名	船名	第1レース			第2レース			第3レース			得点	部門 順位		
						着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点		総合計	GM	M
1	山村 太郎/吉田 向志	2736		稲毛	都	1	1	1	2	2	2	2	2	2	5			
2	石塚 恒志/白岩 道孝	2707	GM	浜名湖		2	2	2	5	5	5	3	3	3	10	1		
3	蜂須賀 強/佐合 要	2809	M	浜名湖	Blue Eel	4	4	4	4	4	4	4	4	4	12		1	
4	石川 光輝/中林 正任	2719	M	大阪北港		5	5	5	3	3	3	6	6	6	14		2	
5	本吉 譲治/安澤 厚男	2888	SGM	葉山		6	6	6	7	7	7	5	5	5	18			1
6	亀山 寛達/井上 敦	2593	M	稲毛		3	3	3	8	8	8	14	14	14	25		3	
7	渡辺 克充/多田 幸男	2866	GM	芦屋	弦風	11	11	11	6	6	6	9	9	9	26	2		
8	佐藤 浩章/村岸 恭明	2862	M	江ノ島		RET	RET	27	1	1	1	1	1	1	29		4	
9	池田 俊則/秋吉 寿美子	2867	GM	大阪北港	Suu	8	8	8	10	10	10	11	11	11	29	3		
10	野口 優/杉田 智宏	2749	M	稲毛	E Wild Boar	10	10	10	16	16	16	7	7	7	33		5	
11	関口 真秀/下村 晃司	2745		江ノ島	Destino	7	7	7	12	12	12	15	15	15	34			
12	植田 泰平/植田 典子	2705	M	芦屋	Kaito	15	15	15	9	9	9	10	10	10	34		6	
13	富田 亮二/富田 寿子	2073		浜名湖	Touch Down	17	17	17	13	13	13	8	8	8	38			
14	南屋 恵美子/長 義晴	2208		芦屋	maruhachi	13	13	13	14	14	14	13	13	13	40			
15	中西 英貴/清水 友紀	2764	M	芦屋	Blackpearl	14	14	14	15	15	15	12	12	12	41		7	
16	野嶋 嘉昭/寺林 欧里	2709		葉山	09magic	9	9	9	17	17	17	16	16	16	42			
17	山本 晴之/山本 玲子	2396		葉山	DYC	12	12	12	11	11	11	RET	RET	27	50			
18	工藤 陽/小野田 倍巳	2457	M	浜名湖		16	16	16	18	18	18	20	20	20	54		8	
19	齋藤 智子/山崎 真一	2675		葉山	安原艇	19	19	19	22	22	22	18	18	18	59			
20	石川 洋二/登尾 早苗	2808	M	葉山	Martian Kitty	20	20	20	20	20	20	21	21	21	61		9	
21	伊浪 雅人/石原 祐二	2748		葉山		18	18	18	21	21	21	23	23	23	62			
22	米本 隆/小松 充	2761		葉山	Strawberry Shak	22	22	22	24	24	24	17	17	17	63			
23	本間 博一/千葉 育夫	2893	GM	稲毛	海太郎X	RET	RET	27	19	19	19	19	19	19	65	4		
24	長谷川 勝啓/長谷川 大智	2657		浜名湖		21	21	21	RET	RET	27	22	22	22	70			
25	小松 正勝/小松 美沙	2327	M	浜名湖		23	23	23	23	23	23	24	24	24	70		10	
26	宇佐美 重則/小田倉 里美	2730	GM	稲毛		RET	RET	27	RET	RET	27	RET	RET	27	81	5		
風向						170			170			160			2012. 08. 26 中嶋 浩二郎			
風速						6.2			7.2			6.4						
開始時刻						11:37:00			12:25:00			13:20:00						
top艇フィニッシュ時						12:07:05			12:53:44			14:09:19						
終了時刻						12:13:34			13:00:47			14:16:14						

2012年 テーザー級全日本選手権
得点集計表

最終成績

実施日	2012/9/14~16
会場	兵庫県立海洋体育館
種目	テーザー級

レース委員長
石島五郎
プロテスト委員長
代 副川義明

低得点方式

No.	セール番号	選手名	フリート	第1レース			第2レース			第3レース			第4レース			第5レース			第6レース			最終成績		クラス別順位			
				着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	得点合計	総合順位	M
1	2862	佐藤 浩章 / 村岸 恭明	江ノ島	12	12	12	2	2	2	3	3	3	1	1	1	1	1	1	2	2	2	9	1	M	1		
2	2765	田中 郁也 / 田中 紀子	長崎	2	2	2	3	3	3	1	1	1	4	4	4	8	8	8	1	1	1	11	2	M	2		
3	2712	下村 晃司 / 関口 真秀	芦屋	3	3	3	8	8	8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	3	21	3				
4	2572	軽部 香 / 軽部 竜也	稲毛	6	6	6	1	1	1	9	9	9	3	3	3	9	9	9	4	4	4	23	4				
5	2705	植田 泰平 / 抜井 康樹	芦屋	5	5	5	4	4	4	4	4	4	17	17	17	3	3	3	9	9	9	25	5	M	3		
6	2880	池田 陽平 / 小林 寛	稲毛	9	9	9	5	5	5	2	2	2	12	12	12	4	4	4	OCS	OCS	28	32	6				
7	2736	山村 太郎 / 吉田 向志	稲毛	OCS	OCS	28	6	6	6	7	7	7	2	2	2	7	7	7	11	11	11	33	7				
8	2861	吉田 敬一 / 岸本 辰也	大阪北港	8	8	8	17	17	17	10	10	10	10	10	10	6	6	6	7	7	7	41	8	GM		1	
9	2867	池田 俊則 / 秋吉 寿美子	大阪北港	1	1	1	10	10	10	19	19	19	8	8	8	19	19	19	5	5	5	43	9	GM		2	
10	2738	三輪 記裕 / 森藤 孝志	大阪北港	16	16	16	7	7	7	6	6	6	13	13	13	10	10	10	8	8	8	44	10				
11	2653	多田 幸男 / 九富 潤一郎	大阪北港	7	7	7	OCS	OCS	28	12	12	12	15	15	15	2	2	2	14	14	14	50	11	GM		3	
12	2709	米本 隆 / 宮下 知之	葉山	11	11	11	16	16	16	20	20	20	9	9	9	12	12	12	6	6	6	54	12				
13	2396	山本 晴之 / 斉藤 智子	葉山	13	13	13	13	13	13	14	14	14	7	7	7	20	20	20	13	13	13	60	13				
14	2749	野口 優 / 杉田 智宏	稲毛	10	10	10	22	22	22	15	15	15	16	16	16	13	13	13	12	12	12	66	14	M		4	
15	2719	石川 光輝 / 石黒 克司	大阪北港	4	4	4	OCS	OCS	28	13	13	13	23	23	23	15	15	15	17	17	17	72	15	M		5	
16	2764	中西 英貴 / 清水 友紀	芦屋	19	19	19	12	12	12	11	11	11	14	14	14	16	16	16	19	19	19	72	16	M		6	
17	2670	本吉 謙治 / 安澤 厚男	芦屋	14	14	14	15	15	15	17	17	17	6	6	6	21	21	21	DNC	DNC	28	73	17	SGM			
18	2655	上村 浩 / 蜂須賀 弘美	和歌浦	17	17	17	18	18	18	22	22	22	11	11	11	18	18	18	10	10	10	74	18	GM		4	
19	2688	吉田 哲郎 / 吉田 忠史	芦屋	20	20	20	19	19	19	8	8	8	18	18	18	17	17	17	15	15	15	77	19				
20	2810	小林 勇基 / 川瀬 隆	芦屋	DNF	DNF	28	9	9	9	16	16	16	19	19	19	11	11	11	DNC	DNC	28	83	20				
21	2723	小澤 拓身 / 岡本 憲二	和歌浦	OCS	OCS	28	14	14	14	24	24	24	21	21	21	14	14	14	DNC	DNC	28	101	21	GM		5	
22	2808	石川 洋二 / 登尾 早苗	葉山	18	18	18	20	20	20	23	23	23	24	24	24	23	23	23	21	21	21	105	22	M		7	
23	2893	本間 博一 / 千葉 育夫	稲毛	15	15	15	21	21	21	21	21	21	22	22	22	DNF	DNF	28	DNC	DNC	28	107	23	GM		6	
24	2748	伊浪 雅人 / 石原 裕二	葉山	23	23	23	24	24	24	26	26	26	20	20	20	24	24	24	18	18	18	109	24				
25	2623	黒谷 豊 / 西尾 隆	芦屋	22	22	22	25	25	25	25	25	25	DNS	DNS	28	22	22	22	16	16	16	110	25	M		8	
26	2615	田口 裕介 / 山下 朝子	葉山	OCS	RAF	28	11	11	11	18	18	18	DNS	DNS	28	DNF	DNF	28	DNC	DNC	28	113	26	M		9	
27	2660	掛川 宏 / 佐藤 和紀	芦屋	21	21	21	23	23	23	27	27	27	25	25	25	DNF	DNF	28	20	20	20	116	27	M		10	
スタート時刻				15日 12:07:00	15日 13:25:00	15日 14:32:00	16日 10:00:00	16日 11:46:00	16日 13:20:00																		
先頭艇フィニッシュ時刻				15日 12:51:10	15日 14:02:40	15日 15:16:40	16日 10:49:00	16日 12:29:20	16日 13:58:00																		
レース終了時刻				15日 12:59:05	15日 14:10:35	15日 15:31:55	16日 10:57:07	16日 12:42:00	16日 14:11:45																		
コース				2			2			1			1			1			1								
天候				晴れ			晴れ			晴れ			晴れ			晴れ			晴れ								
風向				240°			240°			240°			75°			75°			110°								
風速				5~6kt			5kt			8kt			9~12kt			5~20kt			9kt								



2012年度 テーザーオータムレガッタ

2012年11月11日 江ノ島

Pos	Sail No.	フリート/水域	スキッパー	クルー1	クルー2	1R		2R		3R		4R		カット	Total
						着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点		
1	2862	江ノ島	佐藤 浩章	村岸 恭明		1	1	1	1	2	2	1	1		5
2	2736	稲毛	山村 太郎	吉田 向志		4	4	2	2	4	4	3	3		13
3	2707	浜名湖	石塚 恒志	白岩 道孝		9	9	3	3	3	3	2	2		17
4	2719	大阪北港	石川 光輝	泉 香月		2	2	12	12	1	1	9	9		24
5	2866	芦屋	渡辺 克充	中川 佳代子		3	3	7	7	9	9	11	11		30
6	2880	稲毛	池田 陽平	小林 寛		5	5	9	9	10	10	6	6		30
7	2867	大阪北港	池田 俊則	秋吉 寿美子		8	8	4	4	5	5	14	14		31
8	2715	葉山	中村 賢一	山下 栄輝		10	10	5	5	6	6	10	10		31
9	2745	江ノ島	関口 真秀	下村 晃司		6	6	10	10	15	15	4	4		35
10	2709	芦屋	植田 泰平	野嶋 嘉昭		12	12	11	11	7	7	5	5		35
11	2572	稲毛	軽部 香	軽部 竜也		7	7	6	6	14	14	8	8		35
12	2396	葉山	山本 晴之	寺林 欧里		13	13	8	8	8	8	15	15		44
13	2593	稲毛	亀山 寛達	井上 敦		11	11	OCS	19	12	12	7	7		49
14	2749	稲毛	野口 優	杉田 智宏		15	15	13	13	11	11	13	13		52
15	2808	葉山	石川 洋二	山崎 真一		17	17	14	14	13	13	DNS	19		63
16	239	葉山	米本 隆	登尾 早苗		16	16	15	15	16	16	16	16		63
17	2652	江ノ島	山分 信	田口 公一		14	14	OCS	19	OCS	19	12	12		64
18	2457	浜名湖	工藤 陽	小野田 倍巳		18	18	16	16	17	17	17	17		68
19															
20															

レース委員長 鶴本 統一



2012年テーザー級和歌山ワールドメモリアルレガッタ

入力用 9 Boats							Race 1			Race 2			Race 3			Race 4			Total pt	Total Rank	
Total Rank	N O.	セールN o.	SAIL No.	Skipper	Crew	フリート / 水域	Class	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank			Point
1	1	2866	2866	渡辺 克充	小澤 拓身	芦屋	GM	1	1	1	2	2	2	1	1	1	4	4	4	8	1
2	2	2736	2736	山村 太郎	吉田 向志	稲毛		2	2	2	4	4	4	3	3	3	1	1	1	10	2
3	3	2705	2705	植田 泰平	抜井 康樹	芦屋	M	3	3	3	1	1	1	5	5	5	2	2	2	11	3
4	1	2719	2719	石川 光輝	泉 香月	大阪北港	M	4	4	4	6	6	6	2	2	2	5	5	5	17	4
5	2	2745	2745	関口 真秀	有木 洋介	江ノ島		7	7	7	3	3	3	6	6	6	3	3	3	19	5
6	3	2534	2534	岩出 彰	蜂須賀 弘美	和歌浦	GM	6	6	6	5	5	5	4	4	4	DNF	DNF	10	25	6
7	4	2396	2396	山本 晴之	井上 敦	葉山	M	5	5	5	8	8	8	8	8	8	8	8	8	29	7
8	5	2709	2709	野嶋 嘉昭	登尾 早苗	葉山		8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	29	8
9	6	2655	2655	岡本 憲二	田中 典和	和歌浦	GM	9	9	9	9	9	9	9	9	9	6	6	6	33	9

Date	24-Nov-12	24-Nov-12	24-Nov-12	24-Nov-12
Starting time	11:00:00	11:50:00	12:55:00	13:50:00
Finishing time	11:31:37	12:30:46	13:38:03	14:24:51
Race end time	11:34:56	12:34:57	13:40:23	14:26:30
Wind direction	30 °	40 °	40 °	40 °
Wind speed	12.0 knt	7.0 knt	13.0 knt	15.0 knt

レスポンス長
山口慶一

